



こごもり敏人の 議員活動レポート

編集・発行：こごもり敏人と市民の会 〒197-0801 あきる野市菅生1753

議会で問う！ 経営感覚と戦略性！ 12月議会「一般質問」報告

＜12月議会・一般質問の内容＞ ① 特別徴収の指定強化について
② 国際姉妹都市交流について ③ 観光振興とマイルス戦略について

※一般質問とは議員が市政全般について何でも問うことができる機会です。

＜質問の主旨＞ ①では「地方分権」や「税源移譲」が進み、今や各市町村が個人住民税などの税財源をしっかりと確保していくことが、「市の経営」や「税の公平性」という観点からも求められているのに、現在の市の「特別徴収」の指定率は約65%と、多摩26市の中でも下位に甘んじている。先進地である高知県安芸市などでは地方税法を遵守し、「特別徴収の100%指定」を行っている。あきる野市でも100%指定を目指して「段階的な数値目標」を定めて取り組むべきではないかと指摘。②は国際姉妹都市である米国の「マールボロウ市」との中学生交流を、今後どのように深化させていくのかという問い。③はこれからのあきる野の観光振興では、新宿などの「都市部との近さ」を生かし、ビジネス団体客を呼び込む戦略が不可欠で、それを具現化する手法の一つが「MICE（マイルス）」であると考え。そこで、現在市で策定を進めている「観光推進プラン」の中に、このマイルス戦略を盛り込むべきと考えるかどうかとの問い。

＜市側の答弁＞ ①平成19年度の税源移譲後、個人市民税の未納対策が最重要課題となっている。市の数値目標として来年度に83%、そして24年度には100%の指定を達成できるよう取り組む。②マールボロウとの交流活動は、あきる野市の国際理解教育を進める上で重要なイベントとして位置づけていく。生徒がマールボロウの中学校と定期的にメールをやり取りするなど、生徒の意識を高め小学校からの外国語活動の発展としても位置づける。③あきる野市は「東京のふるさと」という立地条件で優位にあり、マイルス戦略については、新たな観光推進プランに盛り込み、今後積極的に取り組みたい。